

令和8年度 第2回 浜松市立舞阪小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年7月28日（火） 10:00～11:40
- 2 開催場所 浜松市立舞阪小学校 会議室
- 3 出席委員 今中恵子、小楠悦孝、遠藤育子、徳永光平(P会長)
片桐美恵子(兼学校支援CD)、西山いくえ(兼学校支援CD)
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 堀内 実(舞阪支所職員)・野中重同(民生児童委員)
角田祥子(主任児童委員)・江間雅尾(主任児童委員)
山本俊行(浜松市教育委員会学校地域連携課)
- 6 学 校 古川里江(校長)、寺田善一(教頭)、竹内淳(教務主任)、他教職員 計23名
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者竹内淳【教務主任】
- 9 次 第 (1) 開催要件の確認
※委員全員出席で会議成立の報告有。【司会】
(2) 挨拶
①会長挨拶【小楠】子供たちを支える教職員の皆さんに日々感謝
②校長挨拶【古川】1学期学校生活の振り返り(児童の様子、地震事故等対応)
(3) 議長の選出
※前回委員で今中さんを指名→選出承認で今中委員に決定【会長】
- 10 協議・熟議【議長：今中】
 - (1) 学校評価アンケート結果報告【教務主任】
 - (2) 分散会【委員と教職員】
 - (3) 学校評価アンケート結果と分散会での教職員の話を受けて
 - 【会長】昨年度同様保護者の意見が厳しいが、学校が情報発信している現状を知ってほしい。また、老朽化する施設設備を修繕改修したい。
 - 【徳永】保護者目線として学校には家庭学習の方法改善をお願いしたい。
 - 【西山】学校の手紙は共働き保護者にとって読み込む時間がなく苦しいかもしれない。教職員からは学習のために地域在住の方々から詳細情報を知りたいとのこと。
 - 【片桐】教職員は「いじめはある」と念頭においてほしい。保護者は自分の子供もそれ以外にも協力して行ってほしい。
学校支援コーディネーターとして感じるのは、家庭も保護者も児童も多種多様であり教職員の職務がより一層多岐にわたること。教職員の業務を子供たちのために行いたいから、市教委は現状を国に伝達し、アンケートやレポート等教職員作成の提出物を削減するなど対策を講じてほしい。
 - 【会長】子供の憧れ職業に教師がベスト10に入っていないのは子供が「教師は大変だ」と感じているからではないか。
 - 【遠藤】年度初め1年トイレ指導が負担だそう。支援の手が必要。ハード面として、ト

イレを和式から洋式に修繕してほしい。アンケート結果の回答を待つ保護者のため、要レスポンス対応を。教職員のオーバーワークを危惧し、省くことができる職務は切る覚悟を。

【今中】ラーケーション対応も教職員の職務を増やしているのではないかな？市教委発出のアンケート自体を精選できないものか？

今後の学校運営協議会の具現化＝児童と接する時間の確保が第一【遠藤】

【会長】教職員が児童支援準備に業務時間を費やせるよう、市教委が仕事をまとめて削減してほしい。

【片桐】1年生が学校生活に順応できるよう、初期サポートのボランティアを立ち上げたい。

【会長】中学校は「見守り活動」が開始された。現在小学校の状況を教えてほしい。

【徳永】PTAも見守り活動賛成。不審者対応や身分証明名札のハード面を話し合い中。2学期には開始したい。ただし仕事に就いている保護者が多く、制限有。

【片桐】見守り隊は地域の方々のサポートをもらい、PTAと一緒に人数を増やしたい。

オブザーバーより

【野中】民生児童委員として、今後学校運営協議会の委員に就任し参加したい。

【江間】舞阪中でCS委員。小学校は初参加。学校だよりを保護者は読んでほしい。

【角田】世間では教職員の負のイメージが広がっている。保護者は惑わされないでほしい。教師の本当の意見を教えてほしい。保護者からの要望や質問に、学校現場が対応できることとそうでないことがある。

【堀内】家庭では学力調査が話題になる。基礎的な部分が反映されておらず苦しい。支所は教職員の応援を通して子供の成長を願っている。

【山本】子供も職員もみなさんもウェルビーイングでなくてはならない。子供の志を認めていく大人たちであってほしい。教頭は市教委に改善要望（施設、人）を積極的に提案すべき。営利見返りを求めず頑張れる教職員が尊い。市教委も連絡してよい。困り感、必要感を伝え合うこと。

11 取り組み報告

※学校支援コーディネーターから4月からの活動報告有。【片桐・西山】

12 その他連絡事項等

(1)次回は、第3回令和8年11月19日（木）午前10時から会議室で開催旨報告有。

(2)次回議長は、小楠会長より、遠藤委員を指名。